令和6年3月5日

第3回富山県地域部活動検討委員会

令和5年度地域部活動推進事業 最終報告

朝日町

朝日町型部活動コミュニティクラブ 概要

- 令和3年4月から、学校部活動の一部を地域クラブ活動へ移行。
- 週に平日1~2回(2時間程度)、休日1回(3時間程度)の実施。
- 上記以外の日は従来通り学校部活動として実施。
- 地域クラブ活動の指導者は原則「部活動指導員」「スポーツエキスパート」「競技協会員」などであり、従来より学校部活動指導に関わっていた方々。

運動系

R5.4.1現在

運営主体:朝日町型部活動コミュニティクラブ

活動場所:朝日中学校、隣接する町体育施設

(体育館、武道館、屋内・屋外グラウンド、テニス場など)

活動頻度:週1~3回(平日1~2回、休日1回)

参加部活動:バスケットボール、柔道、剣道、卓球、陸上、バレーボール、

ソフトテニス、野球

指導者:地域指導員

(「部活動指導員」「スポーツエキスパート」「競技協会員」)

参加者:123名

クラブ活動運営費:謝金、保険代、旅費、消耗品費等





文化系

運営主体:朝日町型部活動コミュニティクラブ

活動場所:朝日中学校(音楽室)

活動頻度:週1~3回(平日1~2回、休日1回)

参加部活動:吹奏楽

指導者:地域指導員

(外部指導者(打楽器、管楽器指導者)、

兼職兼業教諭)

参加者:13名

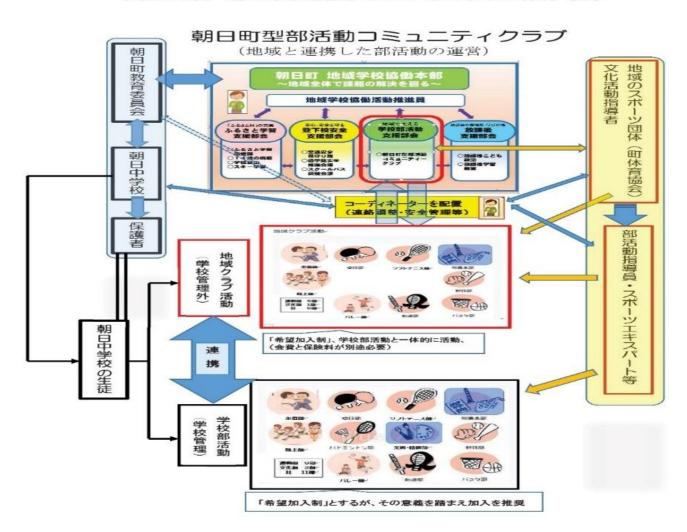
クラブ活動運営費:謝金、消耗品費等





朝日中学校部活動イメージ

令和5年度 朝日町型部活動コミュニティクラブ体制(案)



	R3	R4	R5								
朝日町											
運動部	7部活動 平日1日 休日1日 地域移行	7部活動 平日2日 休日1日上限 地域移行	8部活動(<mark>野球部追加</mark>) 地域移行可能な部活動								
文化部	1部活動 平日1日 休日1日 地域移行	1部活動 平日2日 休日1日上限 地域	平日2日 休日1日上限 地域移行								
指導者		コーディネーターの配置をし、一層の連携強化を図る。									
顧問	生徒への適正な指導提供の	運動部活動(クラブ指導員)の 謝金単価の見直し									
行政			M. II + III o Scielo								
運営財源	国の研究委託費により、運営										
	次年度以降の運営費の確保手段について検討										
国			休日の部活動の地域移行実施に 向け、2025年度まで実施 <mark>推進</mark> 期 間と位置付け、推進								

- 中学校部活動・地域クラブ活動実施状況

	部活動数	種目
運動部	9	バスケットボール、バレーボール、 柔道、剣道、卓球、バドミントン、 テニス、陸上、野球
文化部	2	吹奏楽、 美術•情報
計	11	

中学校部活動の地域の指導者との関わり

【運動部】

- 部活動指導員・・・ 5名 → 6名
 学校長の監督下で顧問の代わりに単独で 指導・引率ができる
- ・スポーツエキスパート・・・ 3名 教員以外で相応の実技指導力を有し、運動部活動顧問と連携を取りながらスポーツの専門的な技術指導ができる

【文化部】

·外部指導者··· 2名 (打楽器、管楽器専門指導者)

朝日町型部活動コミュニティクラブについて

◆朝日中学校の「学校部活動」の一部を段階的に「地域クラブ活動」に移行する取組 を実施している。



朝日町型部活動コミュニティクラブ 活動状況(R5.4月~R5.12月)

単位:日

N	4 日		種目		番日		孫 口		45日		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計	
No		俚日		平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計	平日	休日祝	小計						
	1 3	柔道		8	2	10	8	1	9	4	0	4	7	2	9	8	3	11	6	1	7	7	1	8	8	0	8	9	3	12	65	13	78						
	2 剣	剣道		4	4	8	3	4	7	3	2	5	4	4	8	4	2	6	3	2	5	4	1	5	4	1	5	6	2	8	35	22	57						
	3 ⊑	卓球		2	3	5	2	1	3	4	0	4	7	1	8	6	0	6	4	1	5	4	0	4	5	2	7	6	1	7	40	9	49						
	4 ß	陸上競技		4.5	3.5	8	4	4	8	5	5	10	7	6	13	8	4	12	4	5	9	5	2	7	3	3	6	6	2	8	46.5	34.5	81						
	5/	ベレーボール		7	3	10	7	2	9	7	1	8	8	4	12	6	4	10	8	3	11	6	3	9	4	4	8	5	6	11	58	30	88						
	6)	ノフトテニス		4	3	7	6	5	11	7	1	8	6	1	7	2	0	2	1	1	2	4	2	6	5	2	7	6	2	8	41	17	58						
7		バスケットボール・	男子	6	4	10	7	3	10	5	1	6	6	3	9	6	2	8	5	1	6	5	1	6	4	2	6	5	0	5	49	17	66						
′			女子	1	0	1	4	0	4	2	0	2	1	1	2	0	3	3	2	0	2	1	0	1	2	1	3	2	2	4	15	7	22						
	8 1	野球		3	0	3	7	0	7	5	2	7	6	4	10	5	0	5	6	1	7	7	4	11	3	2	5	5	2	7	47	15	62						
	9 1	吹奏楽		1	5	6	0	6	6	0	3	3	2	5	7	3	0	3	1	7	8	0	3	3	0	3	3	1	3	4	8	35	43						
	計		40.5	27.5	68.0	48	26	74	42	15	57	54	31	85	48	18	66	40	22	62	43	17	60	38	20	58	51	23	74	405	200	604							

朝日町型部活動コミュニティクラブ R5年度 年間スケジュール

月	日	予定	備考
3		朝日町型コミニュティクラブ実行委員会	
		R4年度コミュニティクラブ実施	
4	27	第1回地域クラブ指導者、学校部活動顧 問、町教委との全体調整会議	スケジュール、運営方法等
10	6	第1回朝日町型コミニュティクラブ実行 委員会	半期の振り返り、意見交換
	13	第2回地域クラブ指導者、学校部活動 顧問、町教委との全体調整会議	
2	7	中学校新入生保護者会説明	次年度加入について説明
2	20	AED取り扱い等指導者研修	
		アンケート実施(予定)	
3		朝日町型コミニュティクラブ 第2回実行委員会(予定)	次年度以降の運営方針について検討
	※学校部活	動顧問との連絡調整打ち合わせ(地域クラ	ブごと月1回程度、必要に応じて随時)

成果

- ·地域人材の活用により、専門性の高い指導が受けられるようになり、生徒の活動意欲が高まると共に技術及び競技力の向上等が図られたこと。
- ・小学校でのスポーツ少年団等から中学校の部活動へと計画的・継続的 な一貫した指導が受けられるようになったこと。
- ・「学校部活動」の指導者(部活動指導員・スポーツエキスパート等が、 「地域クラブ活動」の指導を行っているため、指導の一貫性が担保されて いること。
- ・教員がこれまで「学校部活動」指導にあてていた放課後の時間を 教材 研究や採点、生徒指導や進路指導等さまざまな業務にあてられるように なったこと。
- →教員の在校時間が削減され、身体的・精神的な負担が減少したこと。
- ・コーディネーターの配置により、情報共有の連携の効率化(メール 配信)が図られるようになった。(施設の利用状況、学校の行事予 定等)
- ・学校あんしんメール登録、LINE等の構築により、学校の休校予定 や部活動の対応情報を共有できるようになった。

課題

- ・指導者の確保や育成 指導服務(部活動ガイドライン)の遵守、研修の実施方法
- ・生徒の安全管理の徹底 生徒の安全管理についての緊急対応等の徹底が必要
- 費用負担のあり方次年度以降の事業補助等、受益者負担金での運用の検討
- <u>・コーディネーターの配置やLINE等の情報共有の構築により、速やかな連携が図ら</u>れるようになったが、より一層の連携、効率化が必要
- <u>・少子化によるクラブ活動の存続(部活動の継続も同様)</u>
- ・文化部における活動場所や、楽器管理については、顧問が地域クラブ指導者として担っている場合があり、業務軽減が図られていないこともあることから、活動部の学校の開錠、施錠についての業務の軽減が図られるような対応を検討する。